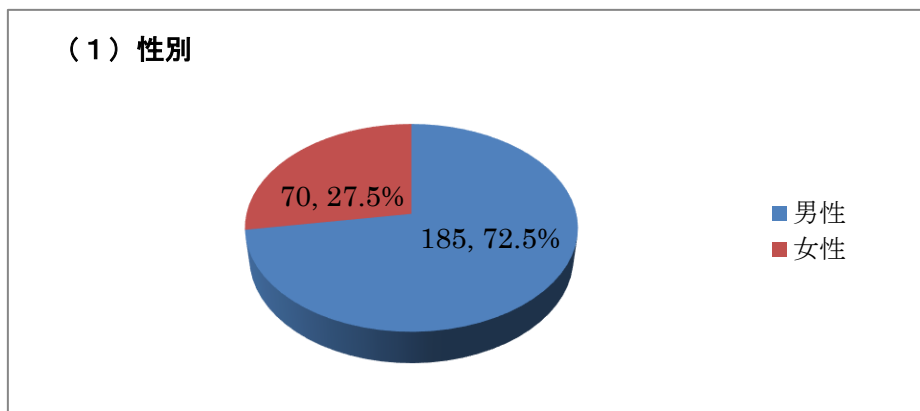
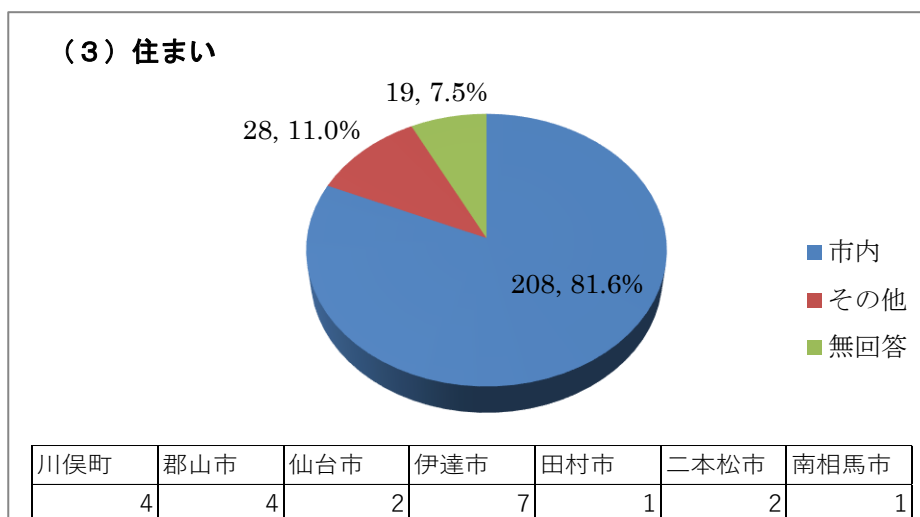
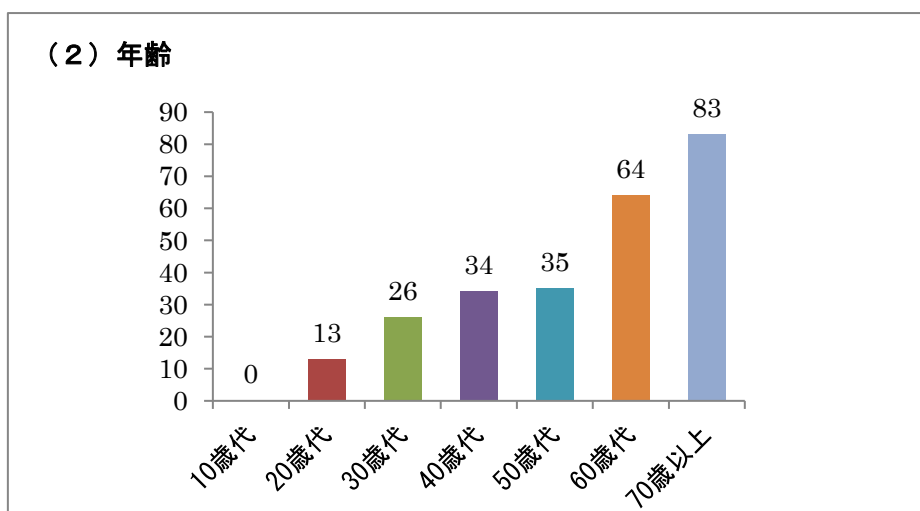


信夫山プロジェクトシンポジウムアンケート集計結果

1. フェースシート

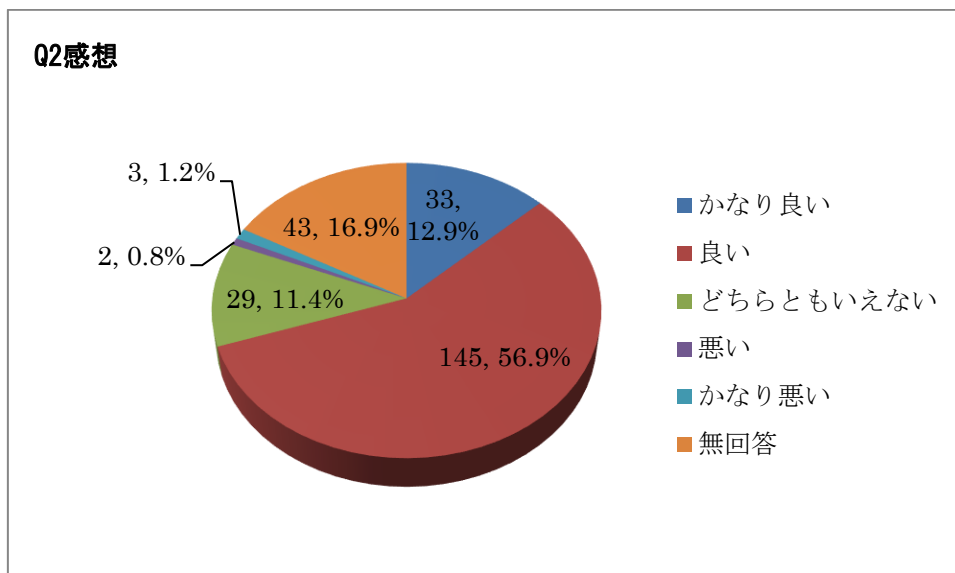


回答総数：255名



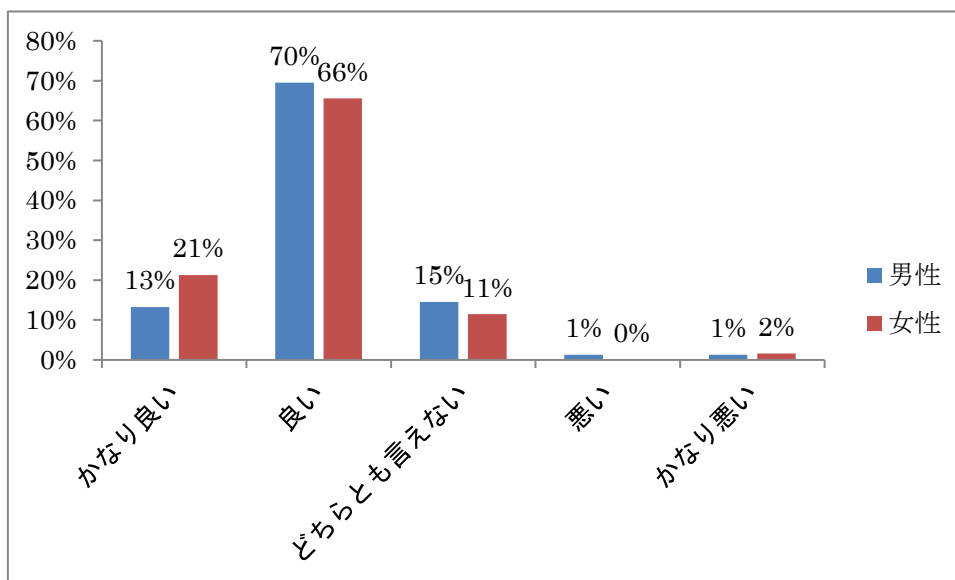
2. 集計結果

2-1 シンポジウムの感想



* 全体平均 3.96

クロス集計 1 性別とシンポジウムの感想



性別とシンポジウムの感想のクロス表

			シンポジウムの感想					合計
			かなり悪い	悪い	どちらとも 言えない	良い	かなり良い	
性別	男性	度数	2 1.3%	2 1.3%	22 14.6%	105 69.5%	20 13.2%	151 100.0%
	女性	度数	1 1.6%	0 0.0%	7 11.5%	40 65.6%	13 21.3%	61 100.0%
合計		度数	3 1.4%	2 0.9%	29 13.7%	145 68.4%	33 15.6%	212 100.0%

グループ統計量

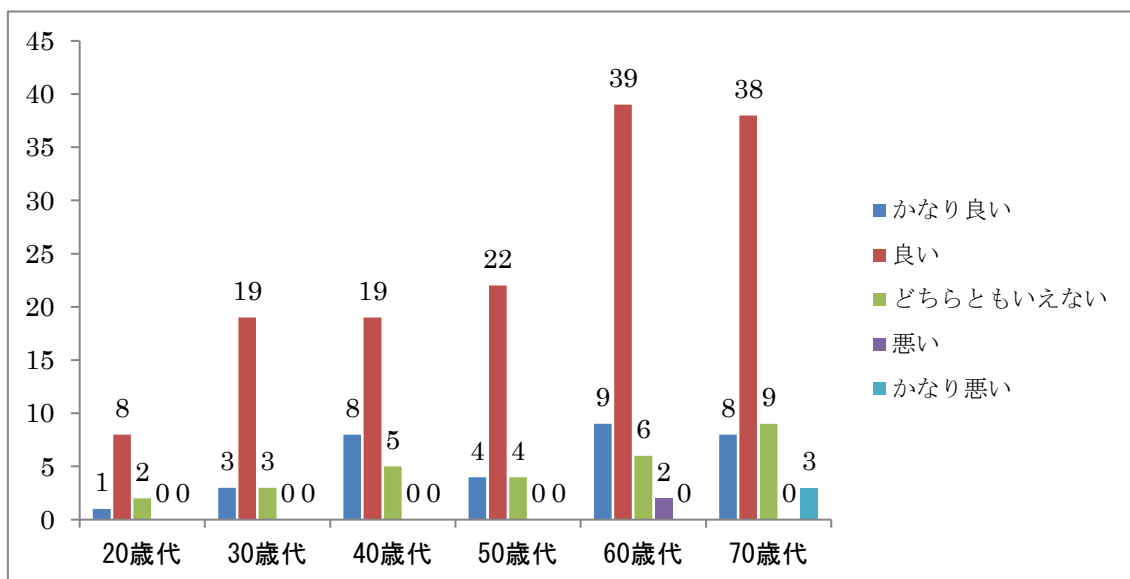
	Q11	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
Q2	男性	151	3.92	.669	.054
	女性	61	4.05	.693	.089

平均値の差の検定結果

t	df	有意確率（両側）	平均値の差	差の標準誤差	差の 95% 信頼区間	
					下限	上限
-1.235	107.459	.219	-.129	.104	-.335	.078

→性別によってシンポジウムの感想と差異はない。

クロス集計 2 年齢とシンポジウムの感想



年齢とシンポジウムの感想 のクロス表

			シンポジウムの感想					合計
			かなり悪い	悪い	どちらとも 言えない	良い	かなり良い	
年齢	20歳代	度数	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	8 72.7%	1 9.1%	11 100.0%
	30歳代	度数	0 0.0%	0 0.0%	3 12.0%	19 76.0%	3 12.0%	25 100.0%
	40歳代	度数	0 0.0%	0 0.0%	5 15.6%	19 59.4%	8 25.0%	32 100.0%
	50歳代	度数	0 0.0%	0 0.0%	4 13.3%	22 73.3%	4 13.3%	30 100.0%
	60歳代	度数	0 0.0%	2 3.6%	6 10.7%	39 69.6%	9 16.1%	56 100.0%
	70歳代	度数	3 5.2%	0 0.0%	9 15.5%	38 65.5%	8 13.8%	58 100.0%
	合計	度数	3 1.4%	2 0.9%	29 13.7%	145 68.4%	33 15.6%	212 100.0%

カイ 2 乗検定

	値	df	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	17.711 ^a	20	.606

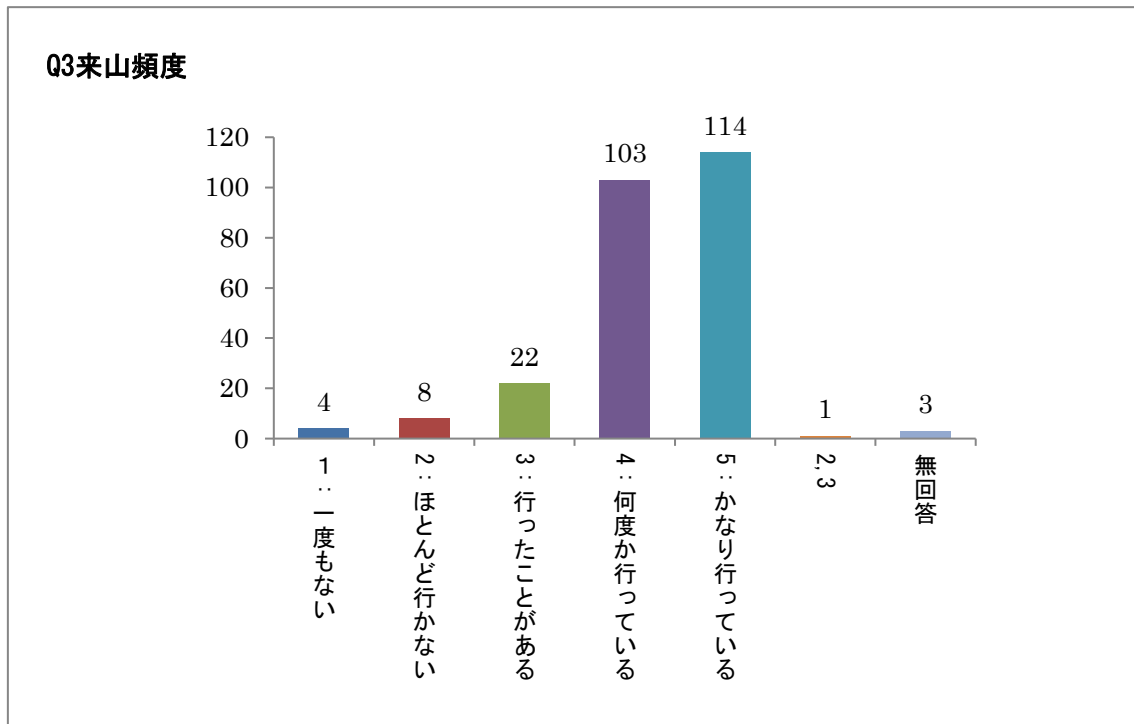
→年齢とシンポジウムの感想との関連はない。

記述統計				
	度数	平均値	標準偏差	標準誤差
20歳代	11	3.91	.539	.163
30歳代	25	4.00	.500	.100
40歳代	32	4.09	.641	.113
50歳代	30	4.00	.525	.096
60歳代	56	3.98	.646	.086
70歳代	58	3.83	.861	.113
合計	212	3.96	.677	.046

*多重比較 (Tukey) の結果、各年齢によるシンポジウムの感想の平均値の際はなかつ

た。

2-2 信夫山へ行ったことがある頻度



クロス集計 3 性別と信夫山へ行ったことがある頻度

性別と信夫山へ行ったことがある頻度のクロス表

		信夫山へ行ったことがある頻度					合計
		一度もない	ほとんど行かない	行ったことがある	何度か行っている	かなり行っている	
性別	男性	4	6	17	75	81	183
	度数	2.2%	3.3%	9.3%	41.0%	44.3%	100.0%
	女性	0	3	5	28	33	69
	度数	0.0%	4.3%	7.2%	40.6%	47.8%	100.0%
合計	度数	4	9	22	103	114	252
		1.6%	3.6%	8.7%	40.9%	45.2%	100.0%

カイ 2 乗検定

	値	df	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	2.051 ^a	4	.726

→性別と信夫山へ行く頻度との関連はない。

クロス集計 4 年齢と信夫山へ行ったことがある頻度

年齢と信夫山へ行ったことがある頻度のクロス表

		信夫山へ行ったことがある頻度					合計
		一度もない	ほとんど行かない	行ったことがある	何度か行っている	かなり行っている	
年齢	20歳代 度数	0 0.0%	0 0.0%	5 41.7%	6 50.0%	1 8.3%	12 100.0%
	30歳代 度数	1 3.8%	1 3.8%	5 19.2%	10 38.5%	9 34.6%	26 100.0%
	40歳代 度数	3 8.8%	5 14.7%	3 8.8%	14 41.2%	9 26.5%	34 100.0%
	50歳代 度数	0 0.0%	2 5.7%	3 8.6%	23 65.7%	7 20.0%	35 100.0%
	60歳代 度数	0 0.0%	0 0.0%	3 4.8%	31 49.2%	29 46.0%	63 100.0%
	70歳代 度数	0 0.0%	1 1.2%	3 3.7%	19 23.2%	59 72.0%	82 100.0%
合計	度数	4 1.6%	9 3.6%	22 8.7%	103 40.9%	114 45.2%	252 100.0%

カイ 2 乗検定

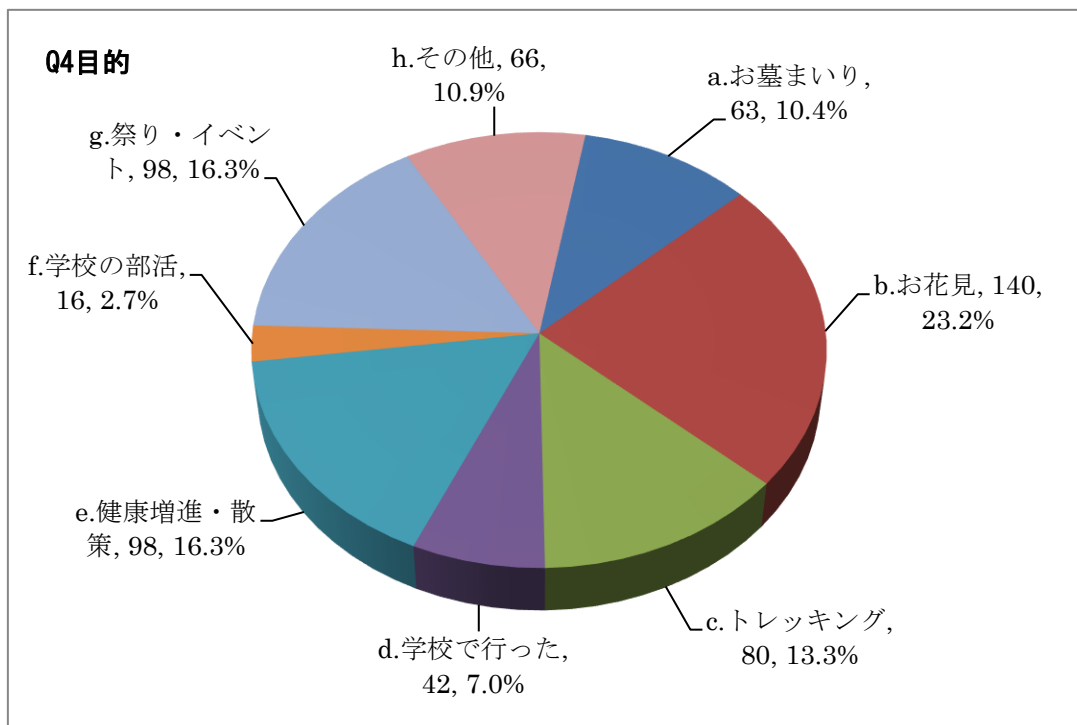
	値	df	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	90.759 ^a	20	.000

*ポイント

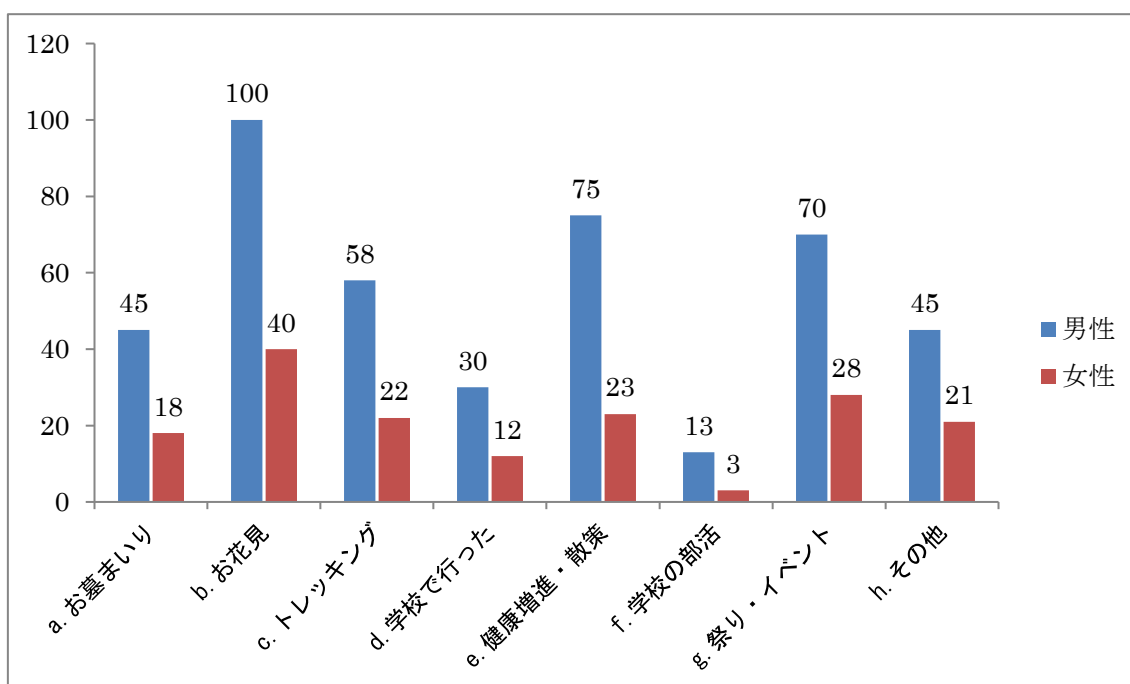
→年齢と信夫山へ行く頻度とは関連がある。

→年齢が高くなるにつれて行ったことのある頻度が高くなり、20歳代30歳代では「行ったことがある」もしくは「何度か行っている」との回答で過半を占める。

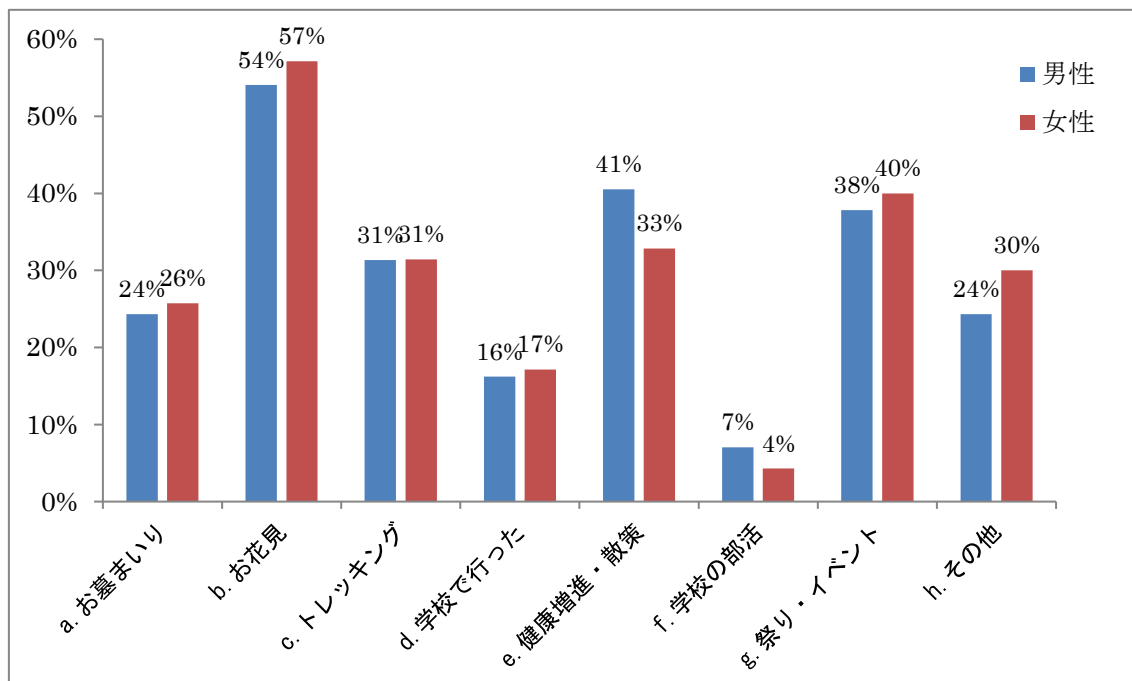
2-3 信夫山へ行く目的



クロス集計 5 性別と信夫山へ行く目的(度数)

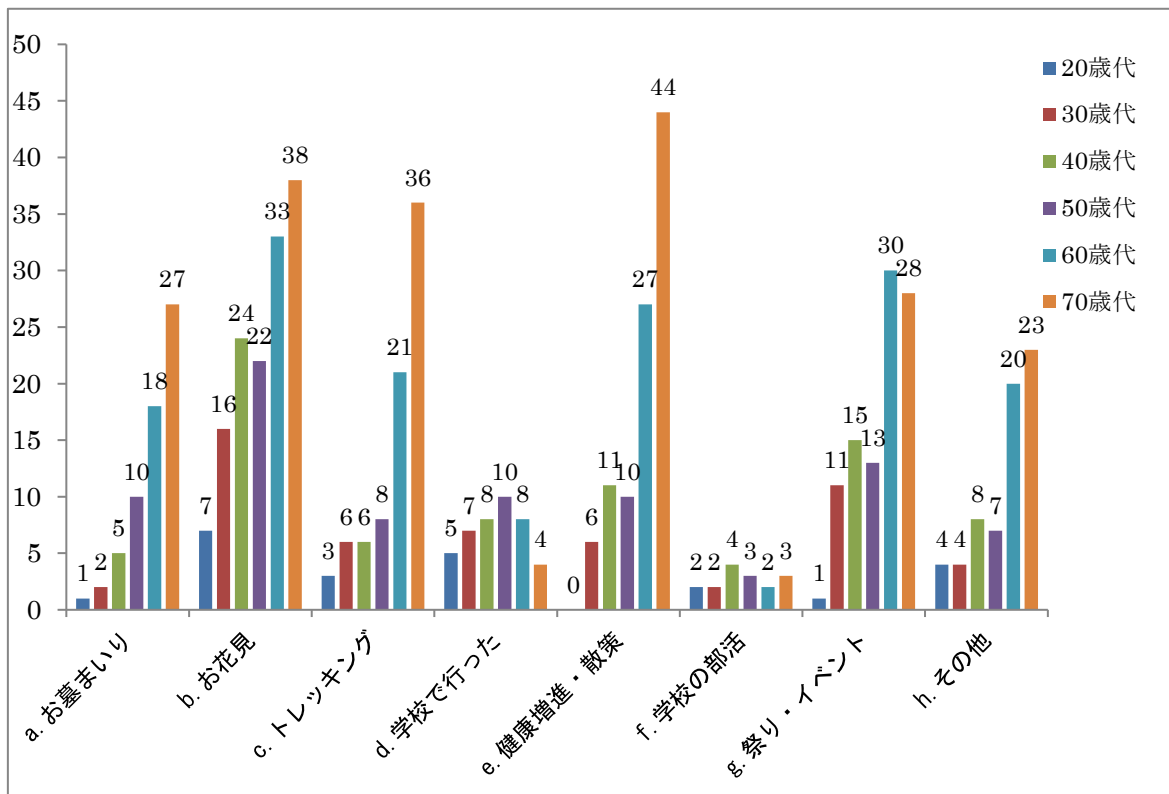


クロス集計 5 性別と信夫山へ行く目的(パーセンテージ)



→性別と信夫山に行く目的との間に顕著な差異は見られない。

クロス集計 6 年齢と信夫山へ行く目的(度数)



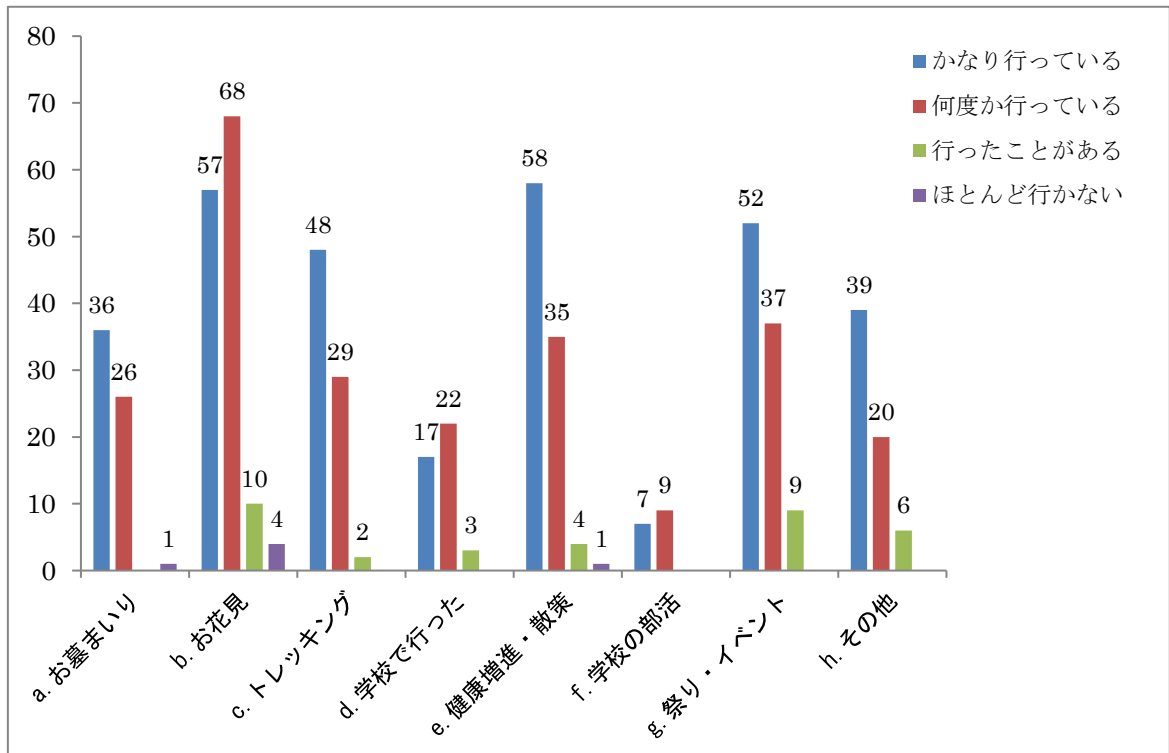
クロス集計 6 年齢と信夫山へ行く目的(パーセンテージ)

	お墓まいり	お花見	トレッキング	学校で行った	健康増進・散策	学校の部活	祭り・イベント	その他
20歳代	8%	54%	23%	38%	0%	15%	8%	31%
30歳代	8%	62%	23%	27%	23%	8%	42%	15%
40歳代	15%	71%	18%	24%	32%	12%	44%	24%
50歳代	29%	63%	23%	29%	29%	9%	37%	20%
60歳代	28%	52%	33%	13%	42%	3%	47%	31%
70歳代	33%	46%	43%	5%	53%	4%	34%	28%

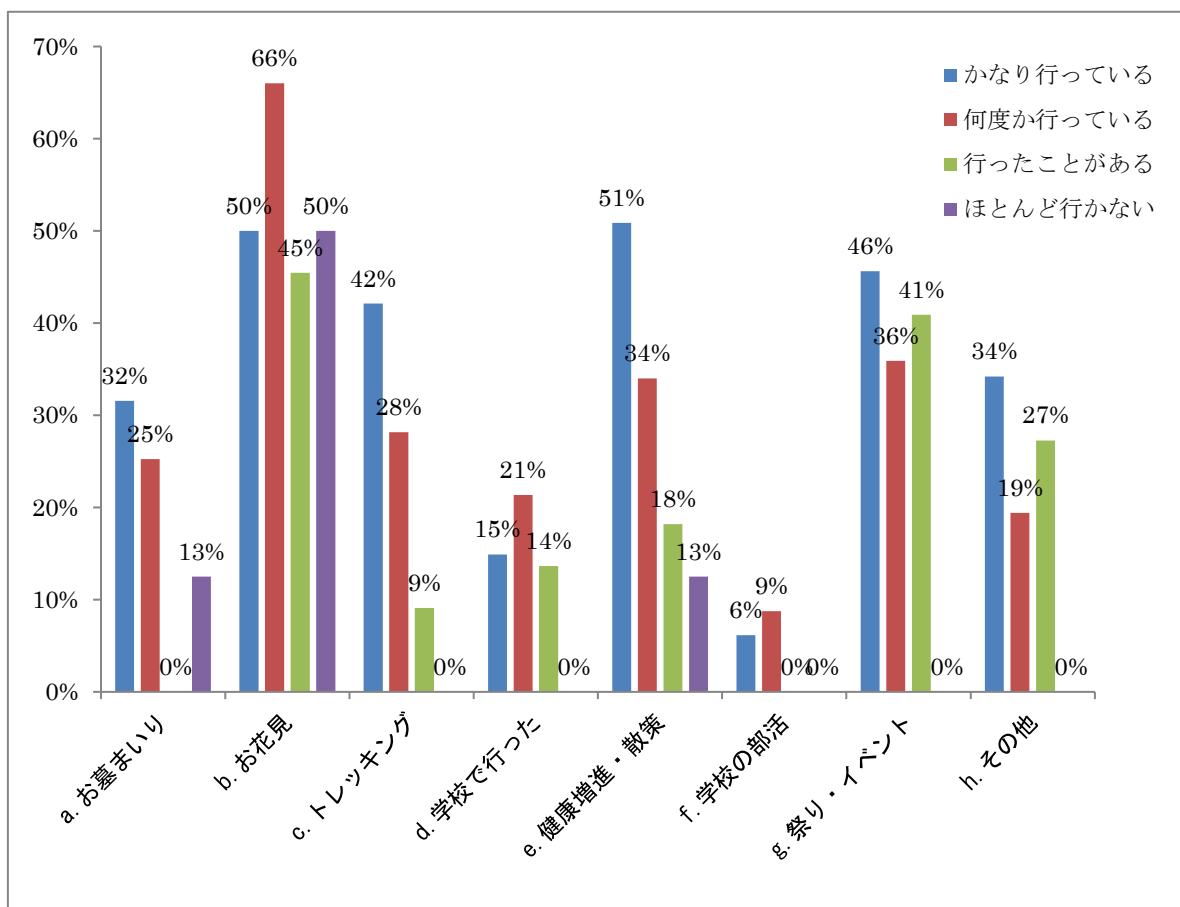
*ポイント

- お花見はすべての年齢層において高いパーセンテージを示している。
- 年齢が高くなるほど、トレッキング、健康増進・散策の割合が高くなっている。
- 20歳代では学校関係で信夫山に行く機会が高い。

クロス集計 7 信夫山や行ったことがある頻度と信夫山へ行く目的(度数)



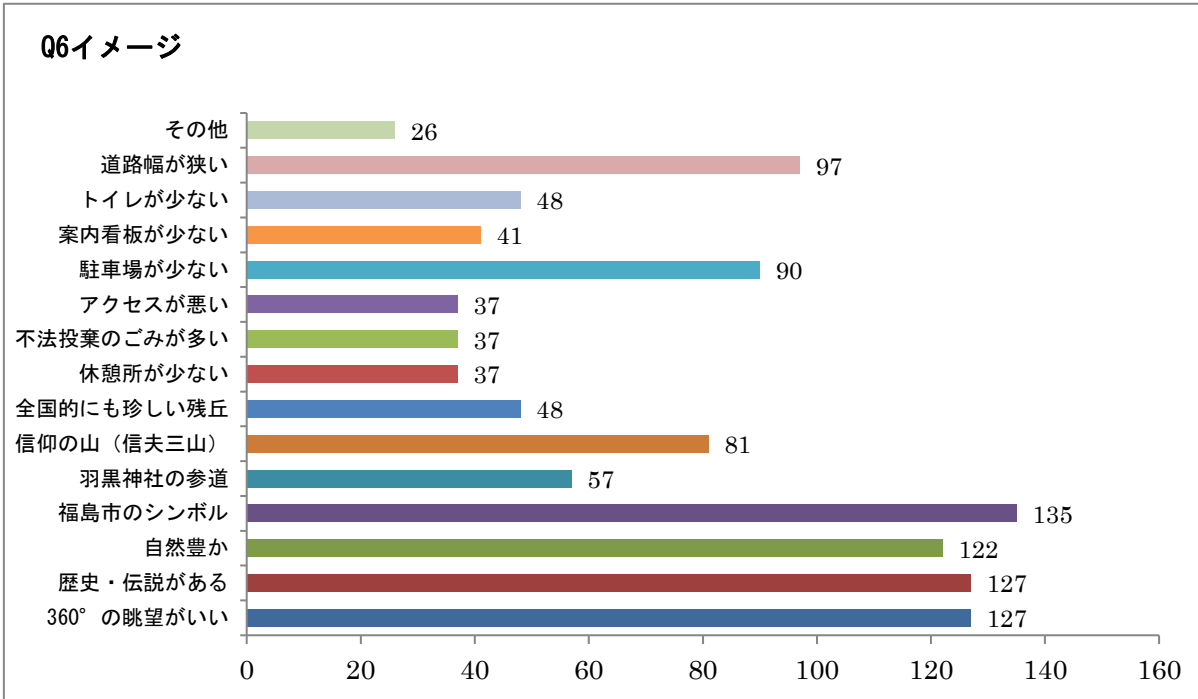
クロス集計 7 信夫山や行ったことがある頻度と信夫山へ行く目的(パーセンテージ)



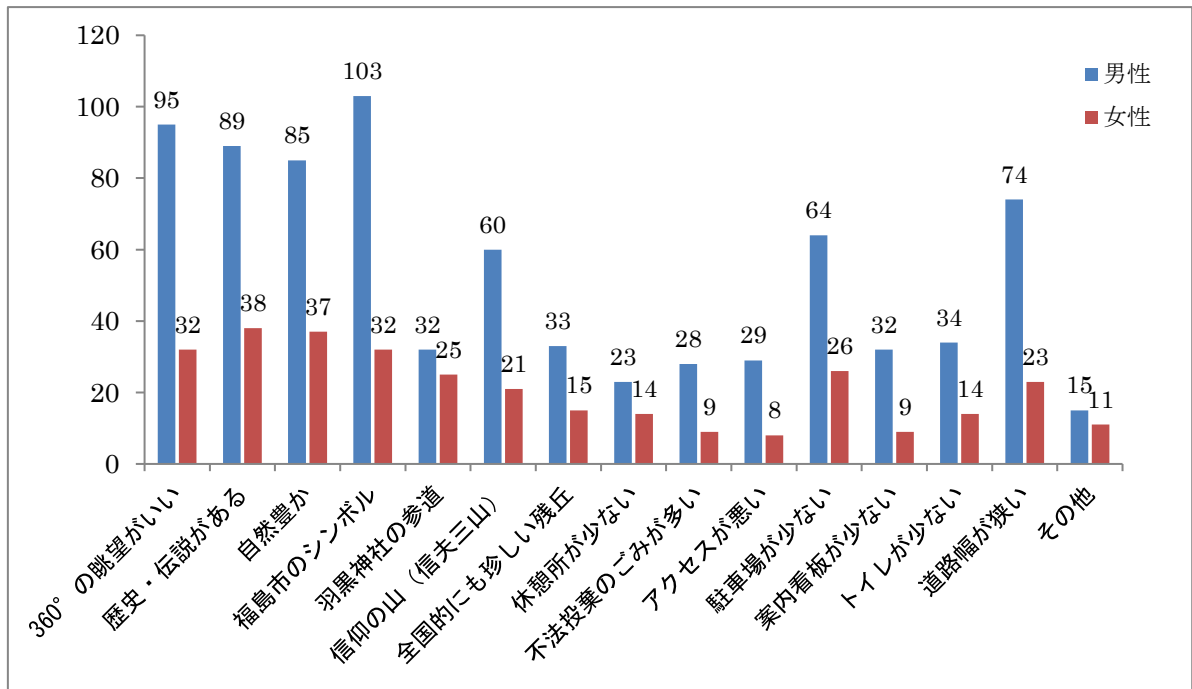
Q5 信夫山に、ほとんど行かない・一度も行かなかった理由(自由意見)

- ・360°の眺望は無い。道路が狭く急。
- ・いつかは行けると思っていたので。
- ・イベントがあるときかないから。
- ・お花見くらいしか行く理由がなかったため。
- ・カフェ・飲食店が少なすぎる。行ってもとどまっていられない。
- ・護国神社、小さい頃よく行ったので、最近はあまり行っていない。観光地としての魅力があまり感じられない。
- ・自宅から遠いため。信夫山に行く理由がない。
- ・市内に住んでいないので、行くタイミングがなかった。
- ・何もない。
- ・花見の時渋滞していて断念したことがありました。
- ・道が細いから。
- ・用件がない。

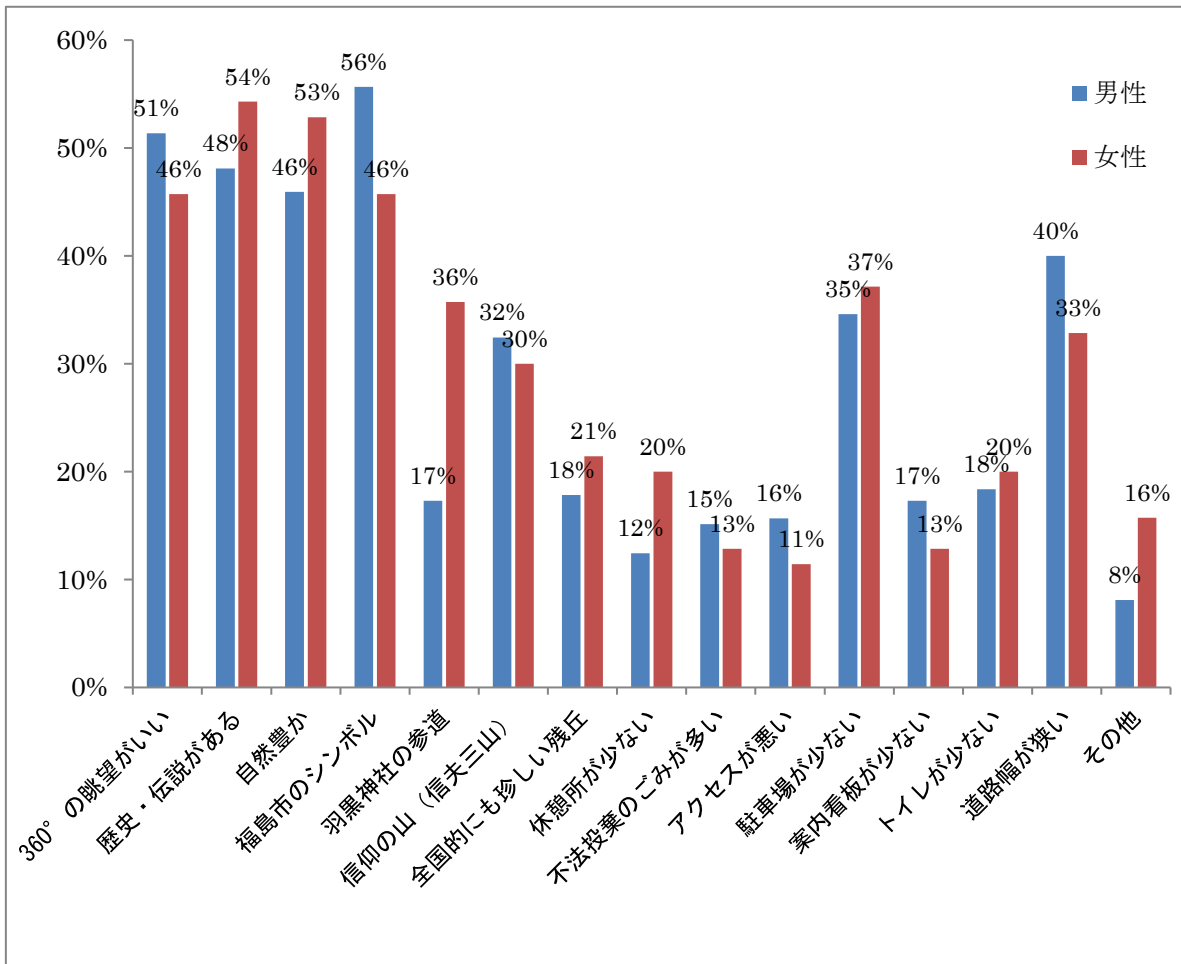
2-4 信夫山のイメージ



クロス集計 8 性別と信夫山のイメージ(度数)



クロス集計 8 性別と信夫山のイメージ(パーセンテージ)



Q7 信夫山の将来についてご意見をお聞かせください(自由意見)

綺麗に整備をして子ども達が楽しめるスペースにしてほしい。
「里山」としてあまり人工的な物は好まない。
360° 展望できる展望台設置を望む。日本一また東北以北最大級のもの、名所となるようなもの。野鳥も少なくなったように感じられるので子どもたちに巣箱設置もよい。何回も訪ねるきっかけになる。
四中の桜が一番きれい。周辺。美術館。
アウトドア、キャンプ、グランピング、ドローン体験（航空法の制限が不明確）←夜空に何十台のドローンページェント等。大人も子供も楽しめる施設、休暇村等。
アクセス整備強化
歩くにしても、車にしても道が” よろしくないのが” 残念です。
行ってみたくなる魅力づくり。キャンプ場（四季を通して出来る）、パーベキュー場。展望→アサヒビール園
移動シャトルバス必要
イベントを多数やる。
今は手入れ不足。自然をこわさない、生物を大切にする・・・これらを守りながら人々が魅力を感じるようにするには今ある資源を最大利用し、時には「え！」とおもうようなことをするとおもしろいな。森の中のコンサート、洞くつ探検 e t c。子どもたちにも興味を持ってもらうようなイベントがほしい。
今までも、これからも信夫山の自然を楽しみたい。動植物の宝庫である信夫山を観光地にして、破壊しないようお願いしたい。信夫山は今のままで十分自慢できる山だ！
いろいろな方面から主旨と計画を立てていくべきである
いろいろな面での「アクセス」を良くしていただきたいと思います。
大きな駐車場の整備を行い、観光基地とし、バスの受け入れと、自家用車の連携が図れるようにできるといいです。路線バスとの連携も必要。他の観光スポットとの連携も必要。
幼い時からお花見、散策などをしながら両親から信夫山の伝説を聞いて育ちました。自然を残しながらみんながいつでも行ける山であってほしい。高齢者のためにモノレールの設置があったらと思います。山の上の方でダンゴやコーヒーを食べられたら良い。
おしゃれなカフェがあれば良いと思います。那須ハイランドパークの NOZARU のようなアスレチック施設をつくと子どもたちが沢山遊びに来るのではないのでしょうか。
汚染土壌のない山にして下さい
会場の参加者の意見が一番面白かった。具体的な取り組みをもとにした発言でよかった。

<p>ガイドセンターの案内板をふもとの方にも設置してほしい。上まで登らなければ気が付かない。既設の案内板にステッカーを貼りつける方法でも良いと思う。設置者と交渉、依頼すれば可能だと思う。理由：ガイドセンターが信夫山を知ってもらうための有効な施設だと考えるから。信夫山に登り口が何カ所もある。年何回かに分けてウォーキングを開催してはどうか（東口、南口、北口、西口とか）。また、登り口に案内板を設置してほしい。</p>
<p>各年代の人たちに楽しんでもらえる”テーマ”と”エリア”をつくることかと思えます。</p>
<p>学校のカリキュラムに組み込むべきである（信夫山を）。信夫山の観光は金山と工場跡地です。行きたくなるアイデアが必要。インスタ映え、パワースポット等々</p>
<p>活性化させたい</p>
<p>神々というが、本来、御在したくらみつは様、大国主尊様、大山津尊様、少名彦尊様、等を再度祀ること。湯殿山神社、月山神社の整備は？？暁まいりは私の調べでは、1200年ころ（鎌倉）、わらじの奉納は、1650年ころ（江戸）からのことである。暁まいりの日に駅前（パセオ）に行ったが、「御山（旧市街地ではない）の祭りだから関係ない」と言っていた。暁まいりにJCが関わったのは近年。元々は敬神会。そして「日本一の大わらじを担ぐ会」さんである。絆祭で大わらじに人が乗るのは不敬である。恥じるべき。仙台の青葉山の名はもともと青葉山寂光寺があったからである。信夫山も、羽山が葉山、そして青葉山と呼ばれたからである。となりのトトロ「さんぽ」の作詞は信夫山。峰越山が山としての名。信夫庄にある山であるから信夫山。その前は吹島（吾妻山から強い風が吹く島）。ここから福島である。暁まいりから農林6号の桃の名を「あかつき」にした。除染廃棄物を置くべからず。もっともっと使えるものはたくさんある。何も出来てない。私は20年ほど信夫山と暁まいりを調べ研究している。</p>
<p>環境保護をしつつ山の保全。健康増進イベント、スタンプラリー、オリエンテーリング、パワースポットのアピール。名物は欲しい。</p>
<p>環境保全に配慮しながらあまり手を入れず（人工という意味）仕掛けを作ることが大切だと思う。</p>
<p>観光コース、ヒルクライムジョギングコース、墓地、霊園</p>
<p>観光の中心的位置付けを確立してもらいたい。（飲食店街、ホテル・旅館街、温泉・バンガロー、バーベキュー施設等）。山に入るときは必ず山伏の夜枝を着ける等。米国のオールドサクラメントのように鎌倉時代にタイムスリップしたと思わせる観光スポットにしてもらいたい（オールディーズタウン仮称）。→自然も守れ、観光客も呼び込める。歴史も大切に伝えられる。</p>
<p>気軽に行ける場所にするには交通の便。街のど真ん中にあることで朝晩は渋滞を巻き起こす邪魔な山にしない。周回道路の整備をして行きやすい場所にする必要性。アスレチックの復活を！今だとあづま運動公園に行くしかない。</p>

行政による道路・下水道の整備をお願いしたい。自然を保ってほしい。人工物は少なめに。
金鉱／秘密工場を生かしたウォーキングづくり。ユズが出荷できるような対策を。自然と里山を生かすように。巣箱設置（小鳥が来るように）
国見～吾妻山～伏拝を眺望したイベントなどどうでしょう。のろしなど。
熊は生存しているのかが気になります。荒川と一緒に自然の魅力を盛り上げたいと思います。
グループで月2回、15年登っています。宣伝を上手にやっていただければ、素晴らしい山なので楽しみです。
県外（市外も含む）海外の皆さんをつれていかれるような整備をすすめなければ。
県外からの観光地に！
現在の信夫山の実態をよく把握し道路、ゴミ、倒木対策を改善しない限り、どんなにすばらしいイベント等を実施しても長期的に信夫山が福島のシンボルになることはない。行政の協力も得て信夫山の未来を考え活動展開をお願いしたい。安全で愛される信夫山が最終目標だと思います。
現状何も変わらないと思います。他県からの集客力は弱いと思います。商業施設、テーマパーク等の大規模なインパクトあるものがないと。インスタグラマーやYoutuberなどの活用。
公園—生活の一部とする。墓地、おまいり。8年前（3.11地震）私の墓石、動かなかった。岩や墓地。
工作物中心でなく、ソフト主体の開発。都市緑化率の中で信夫山の緑化は重要、大切に。「里山」ではあるが観光地ではない。最後に、距離の近い人（住民）の考えや生活にも配慮しないといけない。他人の庭にズカズカ入り込んで勝手なことを言っているようだった。
高齢者、精神・身体障害者・・・等の社会的弱者が癒される物作り。例えば、（東京や福岡にはありますが）折り紙アート会館、植物園等を作って、市民皆さんに安らぎと夢を、希望を与えてほしいです。何度も行ってみたい信夫山にして頂きたいです。
コーディネーターの話が長くて面白くない。パネリストの意見を広く聞くべきだと思う。コーディネーターのしゃべりすぎ！！
個人所有地主が多数いると聞いている。山一体を開発するにも市で一括取得でもしないと不可能でないか。
子供が遊ぶ所であれば大変良いと思う。
子供が遊べる施設・遊具を今以上に充実してほしい。
子供が楽しめる山によりなってほしい！

<p>子供の頃、岩谷観音に行って、とても興味を持ちました。信仰、歴史、パワースポットに結びつくところなので、保全に気を配りながら観光に結び付けていきたい。資源などの説明も訪れる人の視野を広げるのでトライしてみたい。</p>
<p>子供も老人も楽しく過ごせる場所にしてほしい。世界遺産になるような有名な場所になってほしい。モノレールで移動できるようにすれば、行きやすくなるので車での移動手段だけでない方法もあってほしい。</p>
<p>子供を連れて遊びに行けるような施設を作るべき。</p>
<p>これ以上アスファルト、遊具などコンクリートの建造物をつくらないでください。自然を残す、歴史を伝える・・・ゆっくりとしたほっとする山であってほしい。ワイワイ、キャーキャー、ブーブーは衰退でしかない。開発より保善。放っておいては自然は守れない。</p>
<p>これ以上山に手が入れば美しさが消える。</p>
<p>これほど身近にトレッキングの宝庫があるのに、土日に歩いてる人をそれほど見かけない。健康度の低い福島としては、週末の健康ウォーキング、トレッキングの場としてもっとPRした方が良いと思います。</p>
<p>今回シンポジウムに参加してみて、将来の希望と、まだ問題があるんだと感じました。ぜひ地元の皆さんと一緒に、良い場所になると良いなと思います。個人的には車で行ける若者向けのカフェがあるといいなあとと思います。</p>
<p>最初に質問にあった福島市の許可含め穴の活用について回答をききたいです。</p>
<p>再度行ってみたくなる施設を作ってほしい。</p>
<p>桜の木が古くなったので、植樹を促進してほしい。桜の名所として復活してほしい。</p>
<p>散策しても花のない山、山菜の見られない山だと思います。これはあまりに住民に近い山であるので取りつくされたのではと思います。散策してきれいな花があちこちに見られる山にすべきと思います。</p>
<p>参道までのエスカレーターの整備。参道までのお店（休憩箇所）。歴史案内人の人数をふやしてほしい。</p>
<p>自然が豊かなのでそれを生かして里山作りをしていただきたいと思います。出身は伊達市です。信夫山を見ると安どします。</p>
<p>自然公園のようなものがあればよい。信夫山までの道路整備、信夫山の外周道の整備が必要。墓地利用者がアクセスが不便なため、利用しなくなる。</p>
<p>自然と眺望を活かしたアトラクションやキャンプ施設ができるといいですね。</p>
<p>自然と調和する環境づくり（人工的な造りでなく）。汚染土仮置場の跡地利用は？どうする。復元、新につくるのか。</p>

自然の美しさを四季折々に強調することが必要。皇居の乾通りの桜、紅葉に何度か行ったが美しさははるかに信夫山が上である。特に紅葉の美しさは見もの。
自然の良き、四季折々は残せるように。人が入ると自然破壊にならない工夫を。良さをもっと多くの人に。原発事故放射線対策をしっかりと。
自然保全を中心とした開発。
自然豊かな里山を大切にしてほしい。人工物は不要です。
自然豊かな山、車で行って混まない場所にしてほしい。
自然を生かした自然にやさしい取り組みで・・・。
自然をずっと残したい
自然を大切と言いながらなぜ除染の山にしたのか残念です。
自然を大切にしたい観光道路を（現在の路巾を広げるとか）。花木の植林を広げる。
自然を残しつつ草花、鳥の声が聞ける信夫山であってほしいです。
自転車のレンタル。お茶のひととき後の楽しみ。何かほしいです。
市内の全小・中・高・大+幼稚園の全部が年1回でも信夫山に集まる行事を実施することが必要と思う。これが大人になってからの信夫山への愛着を生むのではと思う。
市の中央に位置する小島のような山形を生かして、山の周辺から美しく眺望ができる花で飾る山（特に旧市街地から見て！）にしてほしい。花見山のように。これで観光力UPだ！！
信夫山一周の桜のパールラインの植樹の提案をします。一周で3万本だと思います！いかがでしょうか。

信夫山再生について。私は仕事の関係で、小学校6年の時、三春町から福島に来ました。学生、就職時代の東京生活15年を除いて、約55年花園町に住んでいます。中学3年間は、昆虫少年でした。信夫山、弁天山をフィールドにして、補虫網を持って駆け回っていました。蝶類同好会を作り、標本や、生態研究に明け暮れていました。今も、護国神社から羽黒神社、薬王寺、文化センターのコースや烏ヶ崎コース、一周道路など信夫山を歩いています。信夫山大好き人間です。信夫山は、自然豊かな山＝里山、山岳信仰の歴史の山でもあり、福島市民のシンボル、誇り、宝の山です。信夫山の再生には、「自然を第一」に考えるべきだと思います。現在の信夫山は、仮置き場や墓地のために雑木林が伐採され、除染で落ち葉層、腐葉土層が削られ、虫や蛙、蛇、鳥も少なくなっています。山ユリや野草も消えています。生態系が壊されています。NHK・TV、BS朝7時（土曜日は7時半）からの「日本の里山」を見ていますが、熊本県・黒川温泉は30年かけて周辺に雑木林を増やし、癒しを求めて年間百万人もの観光客が来るようになったといいます。大都会である横浜では各学校が連携して、子どもや父兄が一緒になって工程に木を植え、田畑や池をつくり、トンボやカワセミ、フクロウまで来るようになったそうです。信夫山の再生には、現在の自然を守り、雑木林を増やし、昔いた国蝶のオオムラサキやゴマダラチョウが食するエノキの林、梅林、柚畑、鎮守の森、里山づくりを提案します。また、信夫山を愛する市民が、子どもから大人まで一緒になって、定期的に集まり、植樹や草むしり、ゴミ拾い、虫や鳥の観察会・研究会を開く、いわゆる「市民参加型の再生取り組み」になればと考えます。将来、未来へと繋がるのではないのでしょうか。信夫山は、自然環境、命、歴史、福島を見つめる学びの山となり、本当の遊びの山となるのではないのでしょうか。

信夫山の大掃除（市民運動として）。景観をさまたげている杉等の木林の手入れ。

信夫山の形（現状）を破壊せずに個々に楽しみを見つけて何か得るところにしたい。（信夫山の魅力の紹介、案内の工夫）

信夫山の観光の目玉とは何か明確にする必要があると思います。

信夫山の自然や歴史、戦時中の工場跡など、ありのままの信夫山からの学び、森の癒しを感じて遊べる場、市民が行きたくくなるような自然豊かな山道であってほしいです。高齢者でも散歩出来たり、車椅子でも自然を満喫できるフィールドになったら嬉しです。今回のお話し（シノブライン）には唖然としました。根本的に見直してください。

信夫山の樹木が危機にひんしている。樹木があつての信夫山です。環境保全。破壊が先行するような開発はありえないです。周遊道路は一方通行にすべし。

信夫山の近くで生まれ育ちましたが、小さいころから”涅槃”の姿に似ていると思っていました。開発していくにしても神聖な地であると思いますので、乱開発とならないようにお願いしたいと思います。

<p>信夫山の魅力についていろいろなアプローチ。歴史、文化的な面から。動・植物、自然などについてのことから。散策やトレッキング等、スポーツ・運動的な面から。人それぞれの思いで信夫山に関心を持ち、信夫山に関われる多くの団体や集まりがあるのが現状。しかしながらその歴史や時間の経過の中で、多くの言い伝えの看板等の間違いを正す。未整備な場所、危険箇所の確認、案内路の補修などが必要であると認識されます。人を集め、観光として成立していくためには、それらのことを先んじて整理していく、ないしは並行に実施していく活動が伴わなければ次の世代につながっていく質の高い観光資源になりえない。人寄せパンダ的に人を集めても、資源を守っていく気持ちの醸成なくしては、失望が将来への禍根になると私は思います。もし、投資していく資金等があるなら、それらのことを含みおいて、市政なりがしっかりイニチアシブをとり、多くの団体の意見の違いを整理して、短期的な資金の活用や、中央の広告、ディベロッパー中心の短絡的な資金搬入プランは、再考していただきたい。信夫山を愛するものの1人として。</p>
<p>信夫山の魅力を再確認し、その魅力を将来に残していくための活動をプロジェクトに期待したい。(植生の保全など)</p>
<p>信夫山の良さを発見して(四季を通じて)子どもや孫に伝えていきたい。</p>
<p>信夫山の歴史をもっと市民に知らせるべき</p>
<p>信夫山は市街地の中心にあり自然豊かで植物動物が多く子どもとよく行きました。「こんな虫が、こんな草が、この木が」と会話しながら歩くことの少なくなった現在、歩きながら自然を観察することはとても素晴らしいことと思います。遊具ではなく自然を観察する宝の山であることを望みます。</p>
<p>信夫山は福島市の最も大事な資げんです。又健康づくりの多様な大きな施設とも言える。</p>
<p>信夫山を再認識したのは、転勤族からの情報でした。福島駅長、NTT支店長、郵便局長などをとり込む工夫を・・・</p>
<p>芝生の広がるピクニックができるところ、映画祭、音楽祭など開催できれば行きたい。</p>
<p>市民、県民に広く認知され、地元住民の理解も得られたうえで、”遊べる”場所になってほしいと願う。</p>
<p>市民が休日くつろげる場所にしてほしい。オープンテラス付きのスタバを作る or ツタヤカフェ(ブックカフェ)をつくる。</p>
<p>市民参加のイベントが少ない。</p>
<p>市民に愛される山、皆んなが行きたくなる山</p>
<p>市民のいこいの場所になってほしい。</p>

<p>地元の人だけでなく全国に、ゆくゆくは世界に「福島」と言ったら誇りをもって「信夫山」と言えるように①自然を大事にする②ごみを残さない③わかりやすい案内④市民の温かさ⑤人任せにしない、などできるところからみんなで行っていきたい。</p>
<p>小学校の遠足を信夫山に、、、</p>
<p>将来について考えると、今の信夫山を知ることが大切だと思います。信夫山には何があるのか、どんなところなのか、福島市の市民が自らの言葉で話せるようにする。</p>
<p>震災前に年に2、3回ゴミを拾っていました。これからもボランティアにてきれいに。枯れ木を切ってもう少しきれいに。フェンスをきれいに。</p>
<p>素晴らしい山にしてほしい。何故人を集めたいのか？→理由→詰める</p>
<p>全国的にメジャーなところ、場所であれば子供たち、特に若い人たちのために、土、日、祭日に今回のシンポジウムを開催してほしい。今回は今までの人のためなので、これからの信夫山を考えるためのものは若い人にアピールする必要があると思う。</p>
<p>全国的にも珍しい残丘、遺跡等を子どもたちが誇りに思えるイベントや学習の場として活用してほしいです。私はいつも朝信夫山を見上げる家、場所に居住していることにほっとする毎日です。</p>
<p>そぼく、みどりをふやす。一周道路北側は夜間通行止め。不法投棄防止のため。→市民の教育が必要かも。</p>
<p>第2の花見山に！！</p>
<p>高尾山のような多くの人々が来る山になってほしい。</p>
<p>たくさんの発見あり、幸せを感じれた。信夫山の素晴らしさを再認識できた会でした。もっともっと声を出して伝えてゆきたい！うれしい会最高です。企画に心から感謝いたします。</p>
<p>たくさんの人々が訪れる山になると嬉しいです。自然豊かな山にしてください。</p>
<p>地域の宝として整備とメリハリを持って、30年後につながる信夫山にしてほしい。</p>
<p>中心市街地の再開発と併せて、本当に魅力的な未来福島創造が可能なプロジェクトと思います。</p>
<p>中心部分が無い。アクセスが不明りょう</p>
<p>動植物、自然を大切に。車規制も必要か。放射能問題はまだまだ重いと思いました。</p>
<p>東電の原発事故の影響を見極め、そして再生計画を実施する時期についても慎重に考えるべき、と思います。</p>
<p>道路を整備して気軽に行きやすくしてください。</p>
<p>都会のど真ん中に位置する大自然。これを将来にわたり守りながら多くの市民に親しまれる場を維持したい。決して箱モノ作りをしない。ソフト面充実と発信を！</p>

トトロの中川李枝子さんのイメージを実現した子供達が親しみやすいさんぽ道ができる といいですね。
トレッキングコースの整備。いこいの公園設置。街なか広場から信夫山へロープウェイを かける。観光名所へお年寄りや子供が歩かなくて行ける。
トレッキングとしては高さが低いですが、駅から信夫山へのコースとしての観光を考えると 良いと思う。歴史、伝説が沢山あるのでもっと表現したら良い。
ねらい。北側は車通行止め→目立つ案内板。月山下、第2展望台～車案内、東側に展望 台。
墓参りのイメージと、花見のイメージが強く、眺める山だけがほとんどなので、遊べる山 にするには、駐車場や休み処の新設が必要か。コーディネーターがしゃべりすぎ、具体例 ない。
羽黒山、日山神社をおごそかな建物に建て替えてほしい。遺跡を信夫山に作ってほしい。 二階建てバスはいらない。金こうを利用しよう。福島の高尾山にしよう。
花の咲く木を多く植樹してほしい、花の山にしてほしい
花見山、信夫山、飯坂温泉の回遊ができるように。国内2カ所の珍しい山。市のシンボ ル、アクセスの充実。市長の挨拶の三本柱が全く同感。山の中巡回バスができると良い。
花見山にまけないで！
パネリストからの発言の実現をぜひ図って欲しい
パワースポットになれば女性にうけると思う。
人々に足を運ばせる魅力づくり、きっかけづくりとして、サイクリング、フォトロゲイン グ等のイベント。
福島駅からのアクセスが良くなれば、東京の高尾山のようになれば。
福島駅の東西の観光案内所に花見の時期に花見山のモニター、TVだけでなく信夫山のラ イブモニター、行事、イベントを知らせるコーナーを設けてはどうかと思います。案内板 の統一した整備。
福島市中心部のかなりの面積を占める場所。市民が活用しやすくしたり、外国人も魅力 を感じられるような場にしてもらいたい。現実的には非常に難しいが、山もけずり、分譲地 や介護施設にした方が市民のためには良いのでは・・・
福島市の観光拠点として、更なる発展を期待しております。
福島市の中央にある山としての魅力ある集いの場として将来性があると感じておりま す。引き続き一市民として応援させていただきたいと思います。頑張ってください。
福島地域の心のふるさと、華美にならないように開発することを望みます。100年後の信 夫山を描いて計画を立ててほしい。

<p>福島観光地として開発すべき。道路拡巾、ロープウェイの設置など。ペットブーム、ねこ稲荷神社を有名にしてはどうか。市内小中校では、必ず信夫山に遠足に行くことにしては・・・愛着心を育てる。</p>
<p>福島の市民の方はいろいろな楽しみがあっとうらやましい。</p>
<p>福島のシンボルに是非なってほしいです。応援します。</p>
<p>福島の名所、全国にPRして下さい</p>
<p>他の土地から来た人を案内できる山になれば良いと希望。</p>
<p>他の都道府県のケースも参考にすべきではと考える。市街地の山の利活用について、他の地区ではどう考えて取り組んでいるかも加味したほうが良いと思う。</p>
<p>墓地開発が更に進んでる。許されてる?? 雑木が伸びすぎ。側溝のフタが無い。ガードレールが無い。</p>
<p>ボトムアップか、トップダウンかで方向性が大きく変わると思います。「市民のための信夫山」であれば、なるべくボトムアップで進められることを期待しています。</p>
<p>本当（真）の意味での市民のシンボルになってほしい。</p>
<p>ほんとうに偶然の話ですが・・・今まで何回も信夫山に行っていますが、今年初めに孫と遊んでいた”たこはっちゃん”の広場でのんびりしていた時「あれ？信夫山って意外といいところじゃん・・・」と思ったのです。そしてその後このシンポジウムがあると知って興味が湧いて参加しました。ただひとつお願いがあります。あの場所は何もないけれど孫たちは走り回ってそれなりに遊んでいます。そんなスペースは絶対に無くさないでほしいです。</p>
<p>本来であれば40～50年前（市内の温泉地が元気だった頃）に観光資源として開発すべきだったと思う（東京の高尾山のように）。点（観光スポット）としてではなく、滞在型観光ができる要素のひとつとして面的な開発を期待したい。</p>
<p>孫ができればカブトムシやクワガタなどを取りに連れていきたい。沢山の昆虫が住む信夫山になれば子どもたちも集まるのでは。</p>
<p>孫に美しい秘境を残したい</p>
<p>まず、知ってもらうことが大切だと感じております。</p>
<p>まず汚染された山を元に戻す！変形を元に戻す！ごみを捨てさせない！現在の状況は目に余る。粗大ごみまで捨ててある。</p>

<p>まずクリーン化すべきだと思います。ゴミが多いし、放射性物質の保管場所もある。ビーチクリーンならぬ、信夫山クリーンをする。そして認知度が低いと思います。あかつき参り、福男福女レースをブランド化し、メディア・SNSを通し市民が誰でも知っている、そして県内全域の人が知っているレースにして認知度を上げれば、おのずと来る人も増えるかと思います。パークランニングのレースももっと有名にする。</p>
<p>まちなかの里山で、動植物の観察の場であり大人の方には野草、野鳥の宝庫である。また、伝統ある信仰の歴史等を現在の SNS 等で若い人々に広めていくべきである。四季の姿や、ドローンで四季の信夫山を！！</p>
<p>皆が楽しめる場所になってほしい。</p>
<p>もう少し面積を小さく、決定的な建物、博物館等、公共施設を建設したらいかがかな？花の公園造り、いろいろあると思います。高齢者が多くなる中で、昇るためには？休憩場所→食堂等</p>
<p>木林が荒れている。木林の保全、管理が必要である。まず、信夫山より放射線汚染物質を早く撤去してほしい。</p>
<p>もっと、もっと盛り上げていきたい</p>
<p>もっとわかりやすい看板と設置し、企画提案が欲しい</p>
<p>豊かな自然メインに観光活用するのであれば、現在の自然を良く知ったうえで、生物多様性の観点から専門家のアドバイスをうけながら進めないと、貴重な資源をつぶしてしまうことになりかねない。手を入れるところ、入れないところ等見きわめながら、園芸種食彩しないなど。利活用と保全は対するものではないのでぜひ検討してください。</p>
<p>豊かな自然をいつまでも守っていただきたい。スポーツ施設、マラソンコース、ボルダリングコース、散策コースの整備。</p>
<p>リフト、ケーブル等はやめて。</p>
<p>歴史と自然の地として大切にしていきたい。</p>
<p>歴史の山、神の山として自然の眺望を生かしてほしい。</p>
<p>ロープウェイなどがあった方が良いと思う。</p>
<p>若い世代にとって魅力あるスポット、行事、イベント、お店をより多く作ってもらいたい。</p>
<p>若い世代に信夫山の良さや歴史など言い伝えていくこと。また手入れが届かない部分など人の手をかけもっと自然豊かな里山にしてほしい。</p>
<p>若い人、子育て世代が行きたくなる自然公園パワースポットになるといいなあ。可能性を感じることができて良かったです。</p>
<p>若い人が集まる場所に。車での回避がしやすい御山に。</p>

我が家から羽黒山往復 8km お世話になっています。あまり開発は……。このままで……。

私は小さいころは信夫山が遊び場所で秋が終わるころ、落葉の中でよく遊んだものです。その頃の靴といたら、今のような柔らかいものでなく、堅い底の布靴でした。落葉の中でその靴が片方抜けてしまい、泣きながら家に帰った記憶がまざまざとよみがえりました。でも楽しかったことが思い出されとてもなつかしかったことを思い出しました。そんな思い出がある信夫山です。こんな思いをした方はいなかったのではないかと思います。

信夫山はいま荒れていると思う。昔はそれぞれ木の手入れをしていたが、いまはつるがのび悲しい感じがする。手入れが必要。それからだと思う。